



Town News

広報

たてやま

TATEYAMA

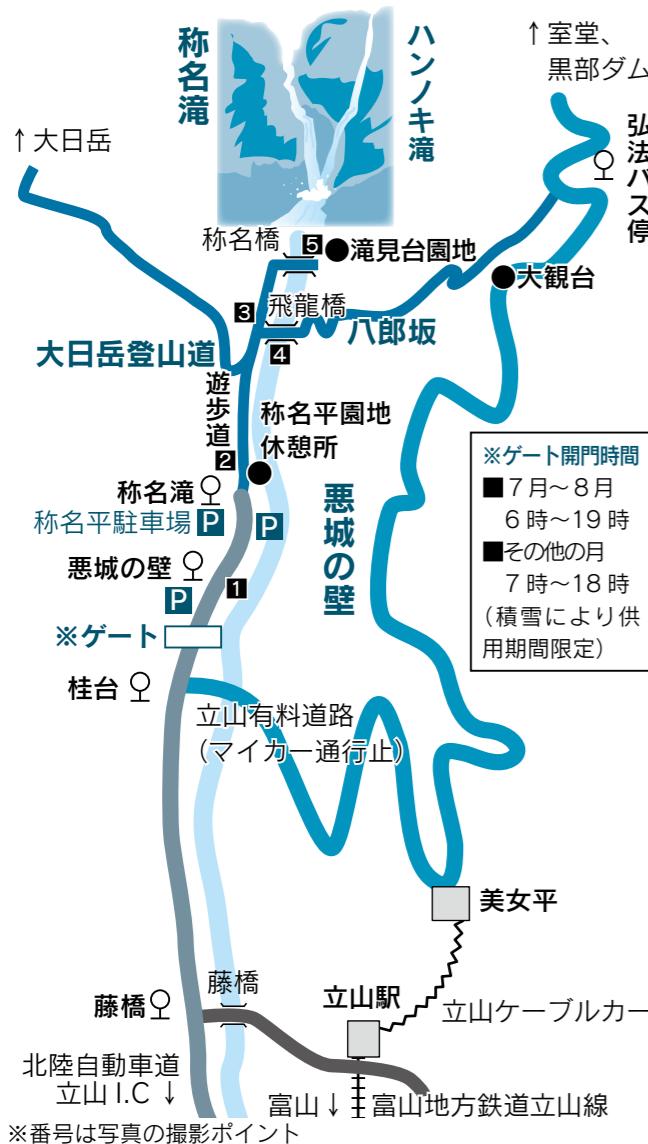
6 JUNE(水無月)
2011 平成23年
No. 690

自然で学ぶ自然の姿

5月5日、立山自然ふれあい館
「カブトムシ幼虫掘り体験」

CONTENTS

称名滝へ行こう	2、3
地籍調査事業	4
町の家計簿	5
特集！地産地消 立山ブランド	16



称名滝へ行こう

5月12日、桂台から称名滝へ向かうルートが開通しました。全国に誇る立山町の自然を見に行きませんか？

①一枚岩としては日本最大の「悪城の壁」②遊歩道のわきに生育する「ニリンソウ」。一本の茎に二輪の花が咲くことが名づけられました③いたる所から流れ落ちる豊富な雪解け水④飛龍橋付近から称名川下流を眺める景色⑤豊水期の称名川の滝（左）とハンノキ滝（右）



日本一の落差を誇る称名滝。その全長は350mで東京タワー（333m）より高い場所から多い時で毎秒10t、少ない時でも毎秒3tの水が流れ落ちています。滝は4段に折れ、第1段は40m、第2段は58m、第3段は96m、第4段が126mです。

「日本の滝百選」

れ、「幻の滝」とも呼ばれるハンノキ滝。常に水が流れていないので滝として認められてはいませんが、落差は500mもあり、称名滝と字型に水しぶきをあげ、轟音とともに滝つぼへ流れ落ちる様子は、美しく迫力満点です。

県内で唯一の 「日本の滝百選」

日本一の落差とエメラルドグリーンの美しい滝つぼ。県内で「日本の滝百選」に選ばれているのはこの称名滝だけです。

また、平成8年に環境省の公募により、将来に残していくべき音の聞こえる環境「日本の音風景100選」にも選ばれました。

立山の豊富な雪が姿を変えた
称名川。地獄谷から噴出する硫
黄を含み、酸性の水中には魚は
すむことができませんが、澄ん
だ流れで心が洗われるようです。

登山道、八郎坂

名ガイド佐伯八郎が大正13
年に開拓した登山道で称名滝
と弘法を結びます。6月下旬
～10月下旬に通行が可能で、
道のりは2・4km、標高差
が約540mあり、標高によ
る植物分布の違いが観察でき
ます。県の天然記念物である
ヒカリゴケが見られるのはこ
の八郎坂です。

登山道、八郎坂

高木村 春の魚釣り
などの美しい自然



長野県から訪れた
左から田口さん、
小松さん、高木さん



三重県から訪れた 江口さん夫妻

今回初めてハ
ンノキ滝を見る
ことができてよ
かったです。また、称名滝周辺
の自然も美しく
見ごたえがあり
ました。

平成23年度から

地籍調査事業を始めます

みんなの貴重な財産である「土地」の位置、面積などを正確に調査し、土地に関するトラブルを未然に防止するとともに、効率的な土地利用を図るために、平成23年度から国土調査法に基づく地籍調査事業を開始します。



地籍調査とは?

「地籍」とは土地の情報で、いわば土地の戸籍です。「地籍調査」とは土地の情報を明確にすることが目的です。

一つ一つの土地について、みんなに境界などを確認していただき、測量を行います。それらの情報をもとに正確な地図(地籍図)と簿冊(地籍簿)を作成し、みなさんに確認していただきます。

確認していただいた地籍図と地籍簿は町で保管し、写しを登記所に送付します。登記所では、地籍簿の写しをもとに登記簿を修正し、地籍図の写しは登記所備え付けの地図になります。

なぜ地籍調査が必要か?

現在、登記所に備え付けられている地図(公図)の大半は、明治初期の地租改正で作られたものを基礎にしたもので、土地の境界が不明確であり、面積も不正確です。そこで、土地に関するあらゆる行為の基礎となる土地の戸籍をはつきりさせるため、地籍調査を実施する必要があります。

いつから始まるの?

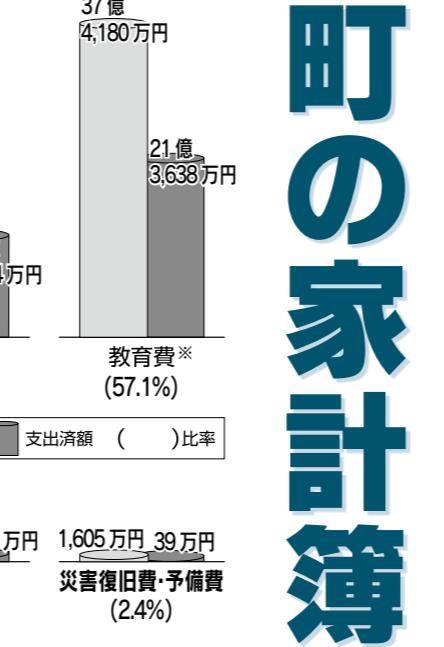
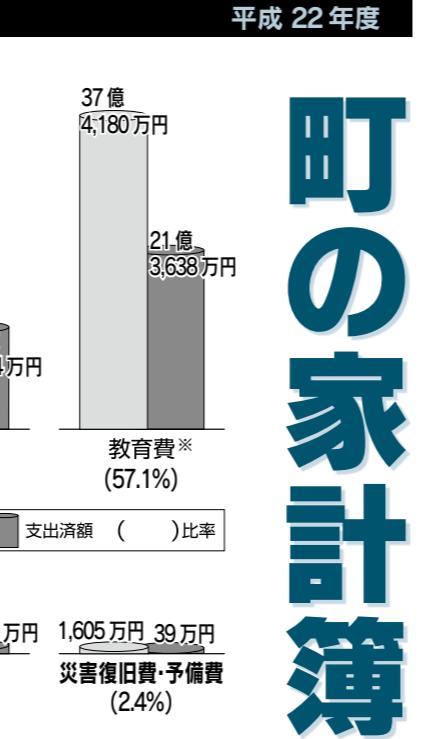
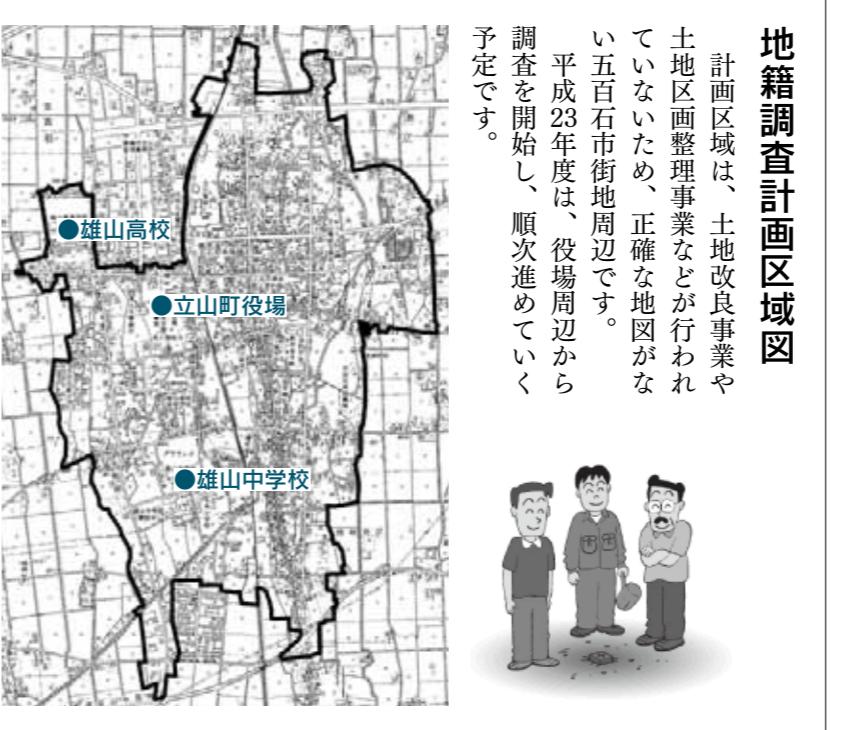
町では、平成23年度は地籍調査に必要な基準点の設置および、役場周辺の地区で資料収集などを行います。境界確認などの調査は、平成24年度から行います。

地籍調査のメリットは?

- ① 土地権利関係の明確化により境界紛争のトラブル防止ができます
- ② 土地取引において円滑化が図られます
- ③ 固定資産税の適正化が図られます
- ④ 公共事業の計画・設計・用地買収の円滑化が図られます
- ⑤ 災害復旧作業の円滑化が図られます

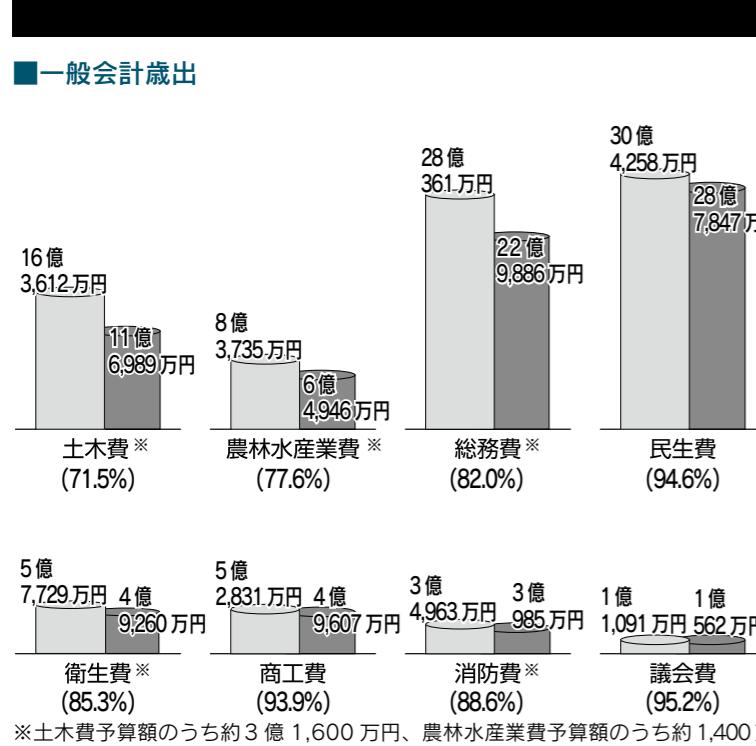
調査費用は?

地籍調査に係る費用は国(50%)、県(25%)、町(25%)で負担しますので、土地所有者に負担を求めることがありません。



平成22年4月～平成23年3月の町の財政状況
(平成23年3月31日現在)についてお知らせします。これは、町条例に基づき、年2回定期的に行うものです。

一般会計の歳出では予算額149億6,102万円のうち、118億4,097万円が支出済で、比率は79.1%となっています。なお、平成23年3月末時点での一時借入金額は0円でした(平成23年5月末時点0円)。町会計は、歳出・歳入とともに5月末に金額が確定します(水道事業会計は除く)。



特別会計・水道事業会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	24億4,218万円	22億6,595万円	22億3,558万円
老人保健医療	761万円	760万円	99万円
後期高齢者医療	5億2,261万円	4億9,622万円	4億6,081万円
墓地公園	932万円	761万円	728万円
地域開発	10万円	0万円	0万円
農業集落排水	4億6,685万円	2億7,039万円	4億1,162万円
水道事業会計	8億1,636万円	5億6,377万円	5億9,018万円

平成23年3月31日現在、補助金などが未収入のため支出済額の方が大きい場合があります。

まちの身近な話題をレポート

カメラレポート

競技を通じて心のつながりを深める

第94回立山区域小学校連合体育大会

第94回立山区域小学校連合体育大会が5月19日、町総合公園多目的グラウンドで開催され、出場した町内と舟橋村の小学5・6年生児童612人が、青空のもと元気いっぱいに競技しました。

今回、5・6年女子100m走、6年女子50mハーフ走、6年女子1,000m走、5年4人×100mリレーで大会新記録が生まれ、このうち、竜田沙織さん（立山中央小6年）は100m走と50mハーフ走、1,000m走の3種目で大会新記録を更新しました。竜田さんは「とにかく何も考えず走りました。大会新記録が出るとは思わなかつたのでうれしいです」と笑顔で話してくれました。

■第93回立山区域小学校連合体育大会大会新記録者
▶女子100m走、渡邊遙奈（立山中央小5年）14秒60
▶女子1,000m走、竜田沙織（立山中央小6年）14秒50
▶5年4人×100mリレー、立山中央小学校1組 3分19秒81
▶女子50mハーフ走、竜田沙織（立山中央小6年）8秒50
▶女子50mハーフ走、竜田沙織（立山中央小6年）8秒72



精一杯競技する選手たち。応援にも熱が入ります（左下）

ピアノチャリティーコンサート 第4回田園コンサートin立山

5月22日、「越中陶の里 陶農館」で「第4回田園コンサートin立山」が開催され、町内外から約100人が参加しました。数々のコンサートで活躍するピアニスト、福井るりさん（富山市在住）を迎えてピアノコンサートが行われ、バッハやベートベンなど9曲を披露し、演奏後、大きな拍手が会場を包みました。

また、コンサートの後バザーも開かれ、町内で採れたタケノコや古代米を使用したこおりもち、陶器、古本などが販売され、会場をにぎわせていました。

富山市から親子でコンサートに訪れた館哲子さんは「田園コンサートには初めてきました。会場の雰囲気もよく、すてきなコンサートでした。次回も家族で参加したいです」と話されました。

今回開催されたコンサートとバザーの収益金は岩手県陸前高田市の子育て支援グループへ寄附されました。



1 桐朋女子高等学校音楽科、リスト・フェレンツ音楽大学（ハンガリー）でピアノ、室内楽を学ばれた福井さん。演奏後は拍手が鳴り止みませんでした。

2 バザー会場の様子。参加者の笑顔で溢っていました

カーブミラー清掃

立山ライオンズクラブ

4月14日、立山ライオンズクラブが雄山中学校と立山中央小学校の通学路でカーブミラーを清掃しました。

これは子どもたちの安全を願って毎年五百石周辺で行っているもので、会員約20人が参加。2班に分かれて15カ所のカーブミラーの汚れを丁寧に拭き取りました。

石田孝夫会長は「この時季は花粉や黄砂でカーブミラーが汚れて見えにくくなります。カーブミラーをきれいにすることで交差点での出会い頭の事故から子どもたちを守りたいです」と話されました。



入念にカーブミラーを磨く石田会長

ゲートボールで絆を深める 第29回高齢者ゲートボール大会

町ゲートボール協会が主催する第29回高齢者ゲートボール大会が4月17日、町中央体育センターで開催され、町内のゲートボールチーム10チーム、約80人が参加しました。

中川光久協会長が「優勝を目指して頑張ってください。また、ゲートボールを通じて絆を深めてください」とあいさつされ、日中上野チーム選手代表の宮崎ミサオさんが「日ごろの練習の成果を発揮し正々堂々と競技します」と宣誓し競技がスタート。参加者は青空の下、元気よくプレーしました。

競技は予選が3者リーグ戦、本選がトーナメント戦で行われ、キープヘルスA（釜ヶ淵）が優勝しました。

キープヘルスA代表の金山美江子さんは「今年初めての大会で優勝することができ、とても嬉し



いです。これから開催される大会でも優勝できるよう頑張りたいです」と笑顔で話されました。

外国の民話を紹介 立山図書館のおはなし会

立山図書館のおはなし会が5月14日、立山図書館で行われ、約30人が参加しました。

語り手は町内のボランティアグループ「立山おはなしの会」が務め、世界各国の話の中で、くもや人間など様々な姿で語り継がれてきたアフリカの英雄「アンシ」について、3つの物語を紹介しました。

「立山おはなしの会」代表の島田佳美さんは「おはなしは、聞く度に、登場するキャラクターや情景など、自分の頭の中で物語の世界の想像が膨らみとても楽しいです」と話されました。図書館では今後もおはなし会を予定しています。皆さんも一度参加してみてはいかがでしょうか。



特集！地産地消立山ブランド



町地産地消加工施設
イメージキャラクター
Miyaychan

町地産地消加工施設では現在5つの町内女性グループが地元で採れた食材を加工し5種類の特產品を作っています。その「立山ブランド」を全5回シリーズで紹介します！

Vol. 4

上等漬物



「上等漬物」とは？

健康づくりに力を入れてきた「JAかあさんの店」が手掛ける漬物は減塩、増酸、低甘味にこだわり、野菜の薬効を引き出した体に嬉しい一品です。



また、使用する野菜は町内で採れる四季折々の旬の食材を使用し、添加物は一切入れず、素材本来の味を味わうことができます。

漬物の種類は甘酢漬けやみそ漬け、しょうゆ漬け、かす漬け、三五八漬け、ぬか漬けがあり、JAアルプスたてやま支店横のJAかあさんの店や吉峰交流館、さらや立山本店、町内各種イベントでも販売されます。

「上等漬物」はこうやって作られる

①沸騰した塩水に1分間湯通しする。このとき食材の変色防止のため酢を、えぐみを取るためトウガラシと一緒に入れる。



②塩は通常使う量より1割減らし、使用。みそ漬けの場合は減塩みそを使用し、素材の味を損なわないよう調味料で味を調整し本漬けをする。

③種類によって酢漬けなど短いものは2週間、かす漬けなど長いものは2ヶ月保管し完成。

私たち「JAかあさんの店」が作っています



私たちは野菜の薬効で皆さんの健康づくりをお手伝いすることを目指し、栽培や品種比較試験、加工、販売に取り組んでいます。

食卓になじみ深い漬物で皆さんの健康づくりを応援できるよう平成21年から本格的に商品開発を始め、活動しています。旬の野菜を漬物として美味しく仕上げましたので是非食べてみてください。

また、JAかあさんの店では生産者と消費者が共に学び、食を味わい、楽しむことを目標としています。野菜の調理方法や栽培方法など何かお困りの際は気軽にお尋ねください。

販売場所と販売日時

■ JAかあさんの店

販売日 平日（祝日は休み） 時間 9時～16時

■ 吉峰交流館

販売日 年中無休 時間 9時～17時

■ 日置交差点近く旧JAアルプス大日SS跡

販売日 6月～10月の土曜日 時間 7時～8時

■さらや立山本店

販売日 6月～10月の日曜日 時間 9時～15時

※この他、町内各種イベントでも販売されます。

善意銀行（4月受付分）

環境保全基金

ふるさと納税

【5月受付分】

● 斎藤博之 様 1万円

（東京都）

● 匿名 様 2万円

● 桜募金 10円

● 生ごみ堆肥化協力金 2,700円

● 宮本幸一 様 5万円

● 中川正行 様 5万円

● 林敏子 様 3万円

● 匿名 様 4,134円

町民の皆さんからの支援金により、町へ避難しておられる2世帯の被災者の方へ、5月18日に見舞金をお渡しました。

東日本大震災 避難者支援金

